

IT Automation エクスポート/インポート 【実習編】

※本書では「Exastro IT Automation」を「ITA」として記載します。

Xastro

目次

- 1. はじめに
 - 1. 本書について
- 2. 実習① メニューエクスポート/インポート
 - 1. 作業環境
 - 2. メニューエクスポート/インポートの作業手順
 - 3. データ登録
 - 4. メニューの作成・入力
 - 5. メニューエクスポート
 - 6. メニューインポート
- 3. 実習② Excel一括エクスポート/インポート
 - 1. 作業環境
 - 2. Excel一括エクスポート/インポート作業手順
 - 3. Excel一括エクスポート
 - 4. Excelファイル編集
 - 5. Excel一括インポート

1. はじめに



1.1 本書について

本書について

本書ではメニューグループの「**エクスポート/インポート**」について、 実践形式で学習いただけます。



2. 実習① メニューエクスポート/インポート



2.1 作業環境

作業環境

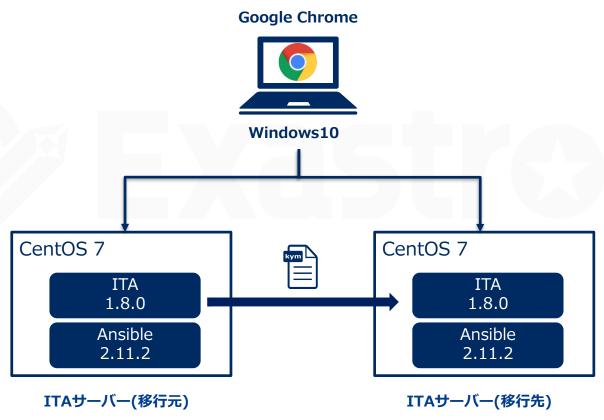
本章で使用する作業環境は以下の通りです。 メニューエクスポート/インポートを実行する際はITAサーバーを**移行元と移行先**の計 2 台ご 用意ください。

クライアント端末

- Google Chrome
- Windows10

ITAサーバー 2台

- CentOS 7 (※1)
- · ITA 1.8.0
- Ansible 2.11.2



※1 今回はホストサーバーとしてCentOS7を利用致しますが、ITAはRHEL7系およびRHEL8系のOSで導入いただけます。

2.2 メニューエクスポート/インポート作業手順

作業手順

本シナリオは以下の流れで進行します。

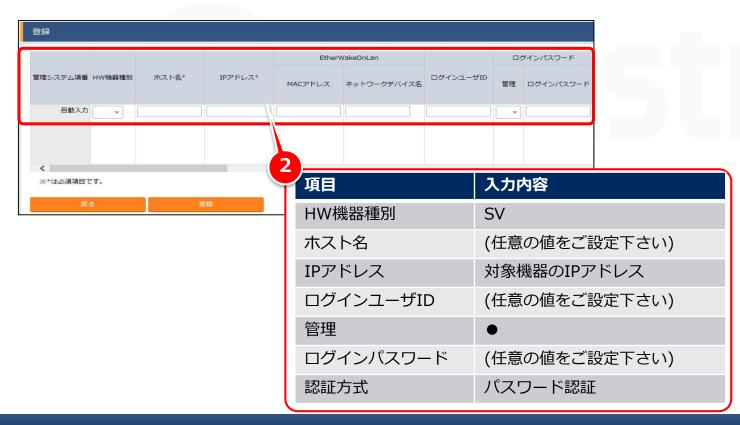
① データ登録 1. 機器情報 2. オペレーション 3. メニューグループ作成 ② メニューの作成・入力 4. メニュー作成 5. 作成したメニューの入力 6. エクスポートを実行する ③ メニューエクスポート 7. kymファイルをダウンロードする 8. インポートを実行する ④ メニューインポート 9. インポート結果を確認する

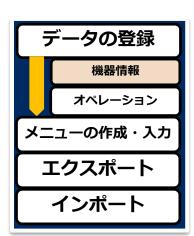
2.3 データ登録 (1/2)

機器の登録

メニュー: **基本コンソール > 機器一**覧

- ① 登録 > 登録開始 を押下する
- ② 各項目で下表のように選択または入力し、[登録]を押下する





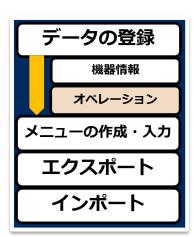
2.3 データ登録 (2/2)

【オペレーションを新規登録する

メニュー: **基本コンソール > オペレーション一覧**

- ① 登録 > 登録開始を押下する。
- ② 各項目へ下表のように入力し、[登録]を押下する。





2.4 メニューの作成・入力(1/4)

メニューグループの作成

メニュー: **管理コンソール > メニューグループ管理**

- ① 登録 > 登録開始 を押下する
- ② 各項目へ下記のように入力し、登録する





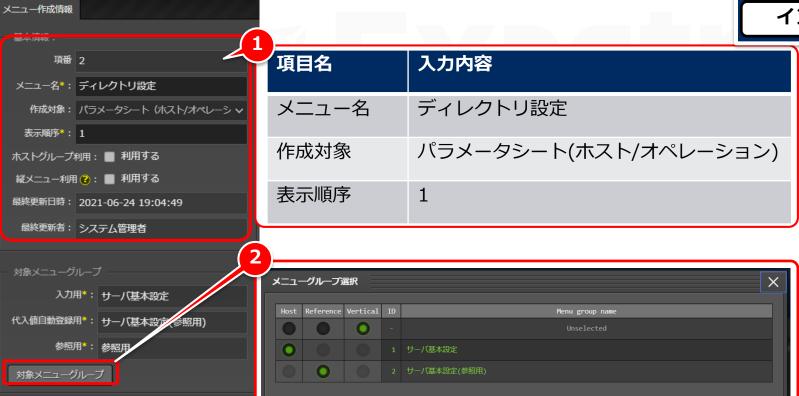
10

2.4 メニューの作成・入力(2/4)

パラメータシートを作成する

メニュー: **メニュー作成 > メニュー定義/作成**

- ① [メニュー作成情報]へ下表のように入力する
- ② [対象メニューグループ]を押下し、 対象メニューグループを選択する(次項へ)



データの登録
メニューの作成・入力
メニューグループ
メニュー
作成したメニュー
エクスポート
インポート

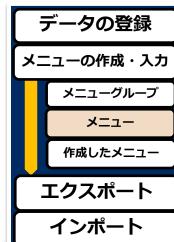
2.4 メニューの作成・入力(3/4)

パラメータシートの項目名を定義する

メニュー: **メニュー作成 > メニュー定義/作成**

- ① [項目]を押下し、新しい項目を追加する
- ② 各項目について、下表のように入力する
- ③ 画面下部の[作成]を押下する





2.4 メニューの作成・入力(4/4)

パラメータシートにデータを登録する

メニュー: **サーバ基本設定 > ディレクトリ設定**

- ① 登録 > 登録開始 を押下する
- ② 各項目で下表のように選択または入力し、[登録]を押下する
- ③ ②で作成したデータについて、下表の内容に更新する





2

ホスト名	オペレーション	path	owner	group	mode
任意	OP1	/tmp/work1	root	root	0644

3

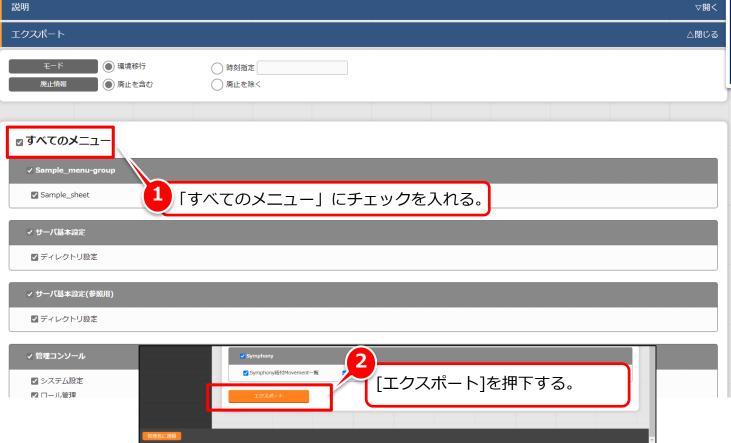
ホスト名	オペレーション	path	owner	group	mode
任意	OP1	/tmp/work2	root	root	0644

2.5 メニューエクスポート(1/2)

エクスポートを実行する

登録した情報を選択し、エクスポートを実行しましょう。

メニュー: **エクスポート/インポート > メニューエクスポート**



データの登録
メニューの作成・入力
エクスポート

エクスポートの実行

kymファイルの
ダウンロード

インポート

2.5 メニューエクスポート(2/2)

kymファイルをダウンロードする

実行したエクスポートのデータをダウンロードしましょう。

メニュー: **エクスポート/インポート > メニューエクスポート/インポート管理**

- ① [一覧]を押下する
- ② エクスポート状況の一覧から、kymファイルをダウンロードする



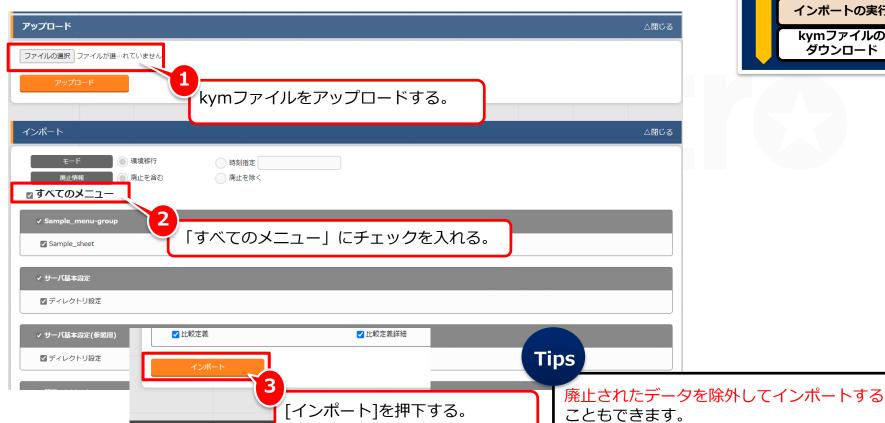


2.6 メニューインポート(1/3)

インポートを実行する

ここからは移行先サーバでの操作となります。 kymファイルをアップロードし、インポートを実行しましょう。

メニュー: **エクスポート/インポート > メニューインポート**



データの登録
メニューの作成・入力
エクスポート
インポート
インポートの実行
kymファイルの
ダウンロード

2.6 メニューインポート(2/3)

インポートのステータスを確認する

実行したインポートの情報を確認し、 ステータスが「完了」となっていることを確かめましょう。

メニュー: **エクスポート/インポート > メニューエクスポート/インポート管理**

- ① [一覧]を押下する
- ② 実行したインポートのステータスが「完了」であることを確認する





2.6 メニューインポート(3/3)

| インポート結果を確認する

移行されたメニューを確認しましょう。各レコードの変更履歴も移行されています。合わせて確認してみましょう。

メニュー: **サーバ基本設定 > ディレクトリ設定**

- ① [フィルタ]を押下する
- ② 「データポータビリティプロシージャ」によってメニュー情報が 移行されていることを確認する



- ③ [変更履歴]を押下し、登録したレコードのナンバーを入力する
- ④ [表示]を押下し、変更履歴の情報が移行されていることを確認する





3. 実習② Excel一括エクスポート/インポート



3.1 作業環境

作業環境

本章で使用する作業環境は以下の通りです。 シナリオの実行に必要なITAサーバは1台です。

クライアント端末

- Windows10
- Google Chrome

ITAサーバー 1台

- CentOS 7 (%1)
- · ITA 1.8.0
- Ansible 2.11.2







※1 今回はホストサーバーとしてCentOS7を利用致しますが、ITAはRHEL7系およびRHEL8系のOSで導入いただけます。

3.2 Excel一括エクスポート/インポート作業手順

作業手順

本シナリオではExcelエクスポート機能を用い、「ロール管理」および「オペレーション一覧」へまとめて登録処理を行います。作業手順は以下の通りです。

- 1. エクスポートを実行する
- 2. zipファイルをダウンロードする

① Excel一括エクスポート

- 3.zipファイルを解凍し編集・保存する
- 4.編集したファイルを圧縮する

② Excelファイル編集

- 5. インポートを実行する
- 6. インポート結果を確認する

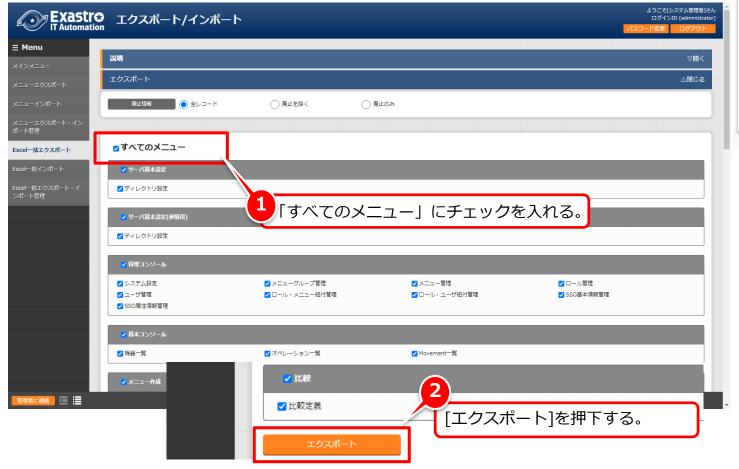
③ Excel一括インポート

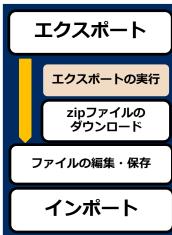
3.3 Excel一括エクスポート(1/2)

エクスポートを実行する

エクスポートを実行しましょう。

メニュー: **エクスポート/インポート > Excel一括エクスポート**





3.3 Excel一括エクスポート(2/2)

zipファイルをダウンロードする

実行したエクスポートのデータをダウンロードしましょう。

メニュー: **エクスポート > Excel一括エクスポート/インポート管理**

- ① [一覧]を押下する
- ② エクスポート状況の一覧から、zipファイルをダウンロードする





3.4 Excelファイル編集(1/3)

zipファイルを解凍し編集する

- ① ダウンロード完了後ファイルを解凍
- ② ファイルを開く > 管理コンソール > ロール(Excelファイル)を開く
- ③ 以下のようにファイルを編集し、上書き保存する



エクスポート

エクスポートの実行

zipファイルの

ダウンロード

3.4 Excelファイル編集(2/3)

zipファイルを解凍し編集する

解凍したファイルを編集しましょう

- ① ダウンロード完了後ファイルを解凍
- ② ファイルを開く > 基本コンソール > オペレーション一覧 (Excelファイル)を開く
- ③ 以下のようにファイルを編集し、上書き保存をする

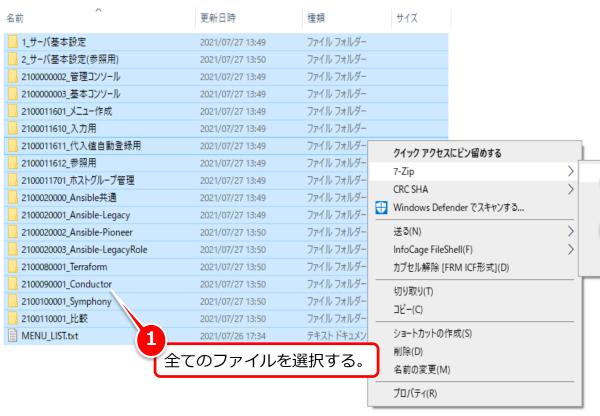




3.4 Excelファイル編集(3/3)

編集したファイルをzipファイルに圧縮する

※ファイル名は任意で指定できます





3.5 Excel一括インポート(1/3)

Excel一括インポートの実行

zipファイルをアップロードし、インポートを実行しましょう。

メニュー:**エクスポートインポート > Excel一括インポート**





3.5 Excel一括インポート(2/3)

インポートのステータスと登録結果を確認する

実行したインポートの情報を確認し、 ステータスが「完了」となっていること、登録結果を確かめましょう。

メニュー: **エクスポート/インポート > Excelエクスポート/インポート管理**





3.5 Excel一括インポート(2/3)

登録内容の確認

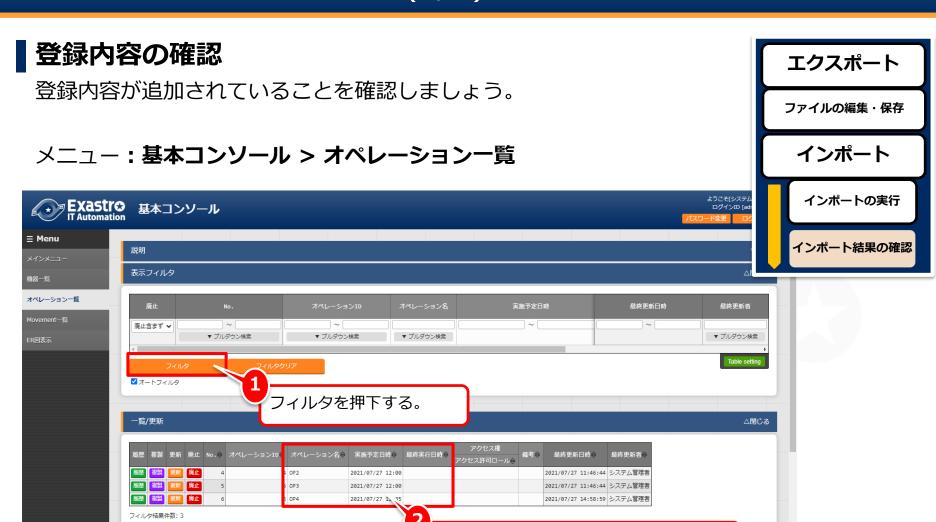
登録内容が追加されていることを確認しましょう。

メニュー: **管理コンソール > ロール管理**



エクスポート
ファイルの編集・保存
インポート
インポートの実行

3.5 Excel一括インポート(3/3)



登録内容が反映されていることを確認する

管理者に連絡

